

「『保活』・『保育制度全般』についてのご意見」の募集結果

◇ この調査は、平成28年3月22日から5月13日まで、厚生労働省ホームページにおいて、①「保活」についてのご意見、②保育制度全般の改善についてのご意見を広く募集したものです。

※平成28年5月20日に中間的に公表した結果を時点更新した最終版となります。

◇ 平成28年4月11日から開始した「『保活』の実態に関する調査」(保活実態調査)と重複する項目の調査結果は省略しています。保活実態調査の結果についても併せてご覧ください。

目次

【①「保活」についてのご意見の結果】

- ・ 調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P3
- ・ 行った「保活」の内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P4
- ・ 情報収集の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P5
- ・ 「保活」における行動内容の具体例・・・・・・・・P6～8

【②保育制度全般の改善についてのご意見の結果】

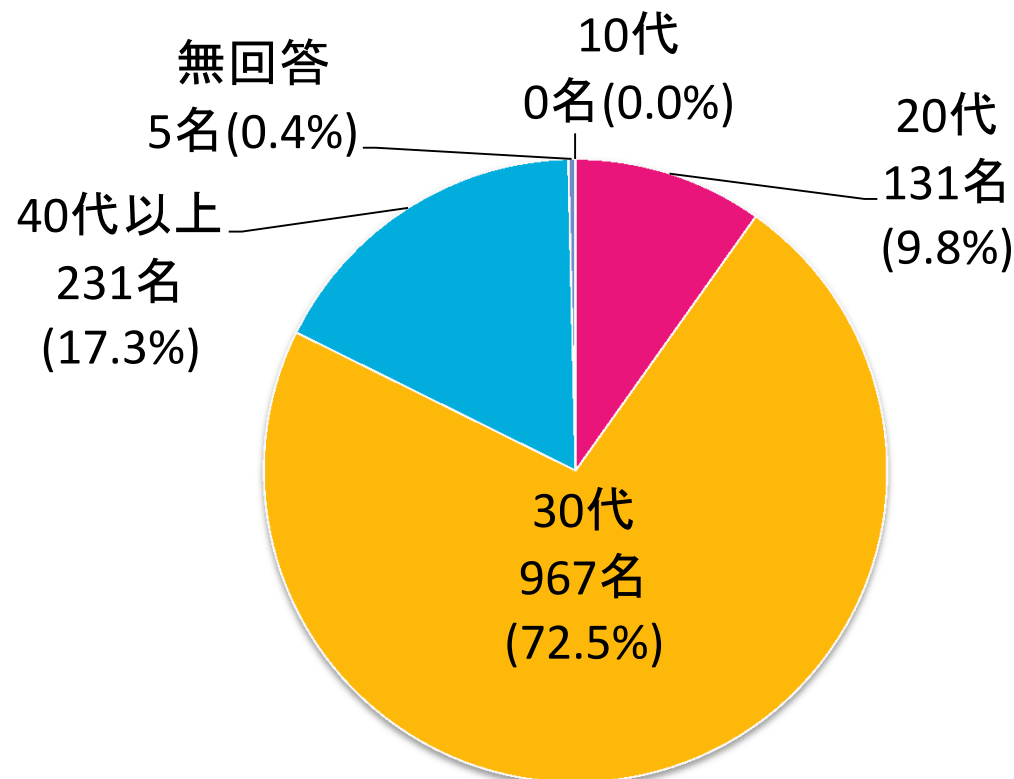
- ・ 調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P10
- ・ 保育制度の現状へのご意見・・・・・・・・P11～14
- ・ 保育制度全般の改善についてのご意見・・・・・・・・P15～19

①「保活」についてのご意見の結果

調査の概要（「保活」についてのご意見）

- 調査対象:「保活」を行った保護者の方
- 調査方法:厚生労働省ホームページから、回答様式にアクセスの上、回答。
- 有効回答数(n) :1,334件
(平成28年3月22日(火)(調査開始日)～5月13日(金)の回答数)

【回答者の年齢構成】(n=1,334人)



【都道府県別回答数(上位5都府県)】

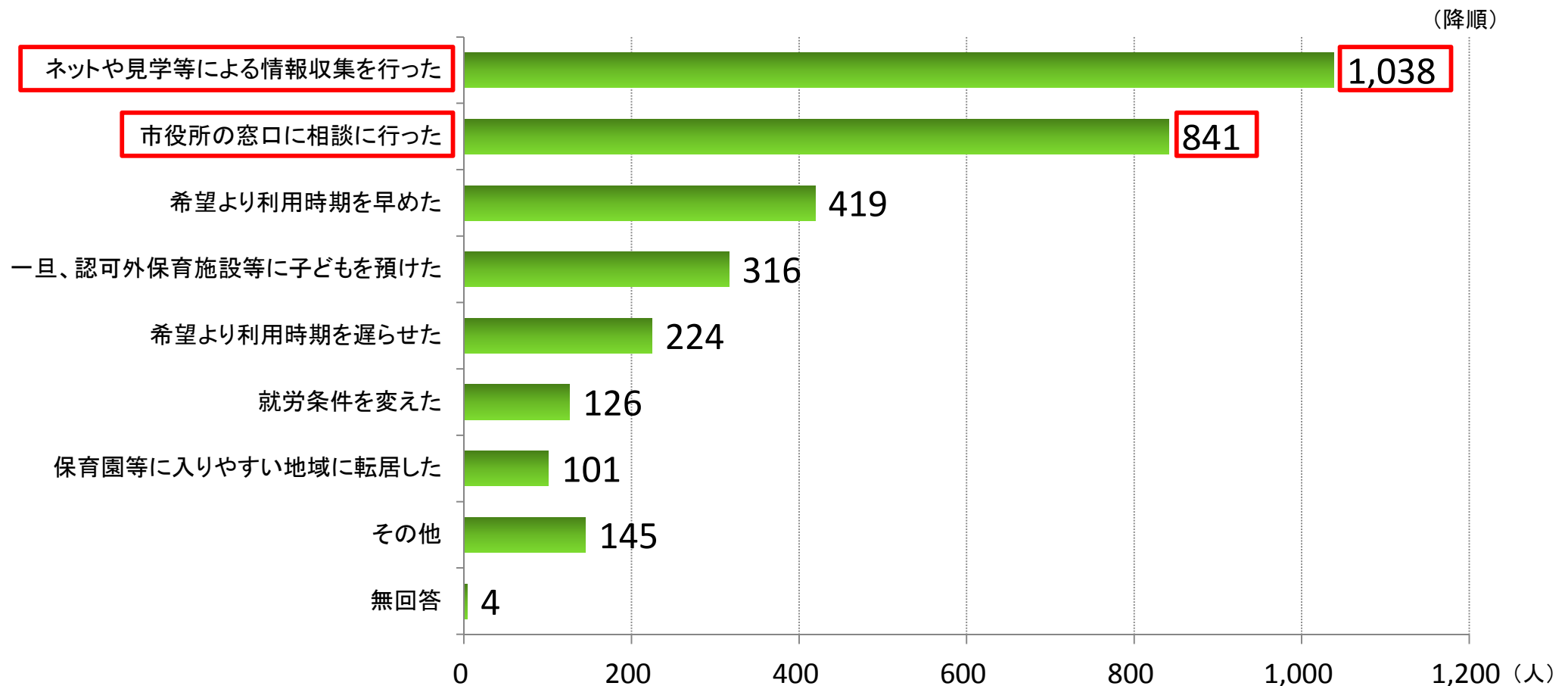
○東京都	634件(47.5%)
○神奈川県	163件(12.2%)
○大阪府	106件(7.9%)
○埼玉県	78件(5.8%)
○千葉県	54件(4.0%)

【性別構成】 男性:74名(5.5%), 女性:1,257名(94.2%), 無回答3名(0.2%)

(1) 行った「保活」の内容

- 「保活」の内容については、「保育園等を比較検討するため、ネットで検索や実際に見学に行く等、情報収集を行った(1,038人)」「市役所の窓口で相談に行った(841人)」との回答が特に多い。(情報収集の内容・手段や、希望より利用時期を早めた(遅らせた)理由などの具体的な内容は、P6～8を参照)

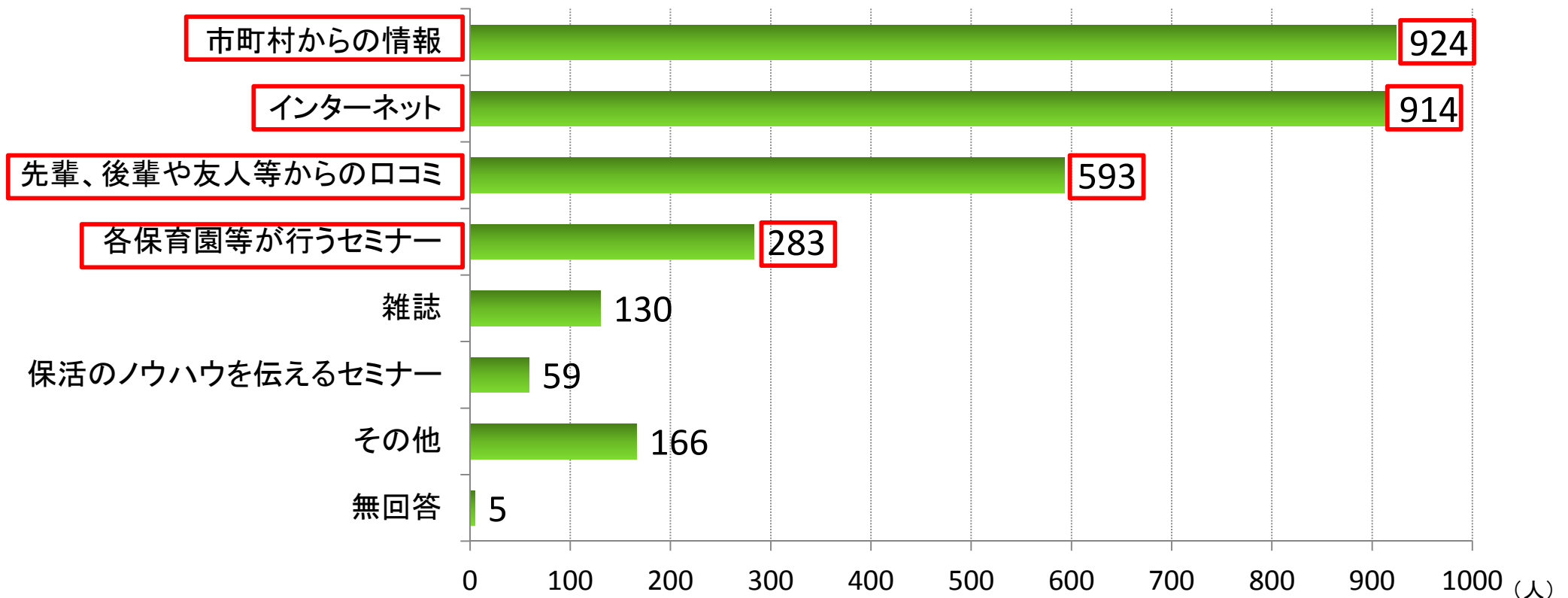
【設問】 行った「保活」の内容について教えてください。(複数回答／n = 1,109 *平成25～27年度保活経験者)



(2) 情報収集の方法

- 「保活」の内容のうち、「保育園等を比較検討するため、ネットで検索や実際に見学に行く等、情報収集を行った」と答えた人が用いた情報収集の方法は、市町村からの情報(924人)やインターネット(914人)が特に多い。
- また、先輩、後輩や友人等からの口コミ(593人)、各保育園等が行うセミナー(283人)との回答も多い。

【設問】 どのような方法で情報収集しましたか。(複数回答／n = 1,038*「ネットや見学等による情報収集を行った」と回答した方)
(降順)



(3) ー1 「保活」における行動内容の具体例（情報収集・窓口相談）

「保活」の内容のうち、「ネットや見学等による情報収集を行った」、「市役所の窓口で相談に行った」と答えた人が、具体的に実施した内容

【自由回答】 情報収集の内容

- ・ 空き情報や昨年度の倍率、評判など様々な情報を収集した。
- ・ 選考方法、選考基準、スケジュール等を電話で問い合わせた。
- ・ 家庭保育園、ファミリーサポート、ベビーシッターなどについて情報収集、申し込みを行い、保育園が不承諾になったときにも仕事復帰できるよう、押さえを用意しておいた。

【自由回答】 情報収集の方法

① 市区町村から情報収集したもの

- ・ 区役所に電話して保育園の事情について聞いた。
- ・ 区役所の保育コンシェルジュに相談した。

② インターネットを活用して情報収集したもの

- ・ 保育園のホームページや口コミを可能な限り読み込んだ。
- ・ SNS(Facebook, Twitter等)で情報収集した。

③ 保育園等に実際に足を運んで情報収集したもの

- ・ 保育園に直接お願いし、説明を受けて見学させてもらった。
- ・ Google Mapで自宅周辺のすべての「保育園」と名の付く施設をピックアップし、歩いて見に行った。
- ・ 保育園のイベントや運動会など未就園児歓迎の行事に積極的に顔を出した。
- ・ 地域子育て支援センターや児童館で行うワーキングマザー対象の集まりに参加した。
- ・ 社会問題を扱うスタディーツアープログラムの保育園視察ツアーに参加した。

④ その他

- ・ NPO法人が出版する書籍で、入園申し込みや、実際の園での生活などの情報を読み込んだ。
- ・ 地域の先輩ママから情報収集した。

(3) ー2 「保活」における行動内容の具体例 (利用時期・就労条件の変更)

「保活」の内容のうち、「希望より利用時期を早めた(遅らせた)」、「就労条件を変えた」と答えた人が、具体的に実施した内容等

【自由回答】 「希望より利用時期を早めた」と答えた人が、具体的に実施した内容・理由

- ・ 待機時間が長いと優先順位が高まることから、次年度4月に認可保育園に入りやすくするため、育児休業を早めに切り上げて認可外保育施設等を利用した。
- ・ 1歳からの入園は倍率が高く、年度途中では入園しづらいため、育児休暇を早めに切り上げて0歳からの入園とした。
- ・ 育児休業を取らず、産休明けで復帰することにした。

【自由回答】 「希望より利用時期を遅らせた」と答えた人が具体的に実施した内容・理由

- ・ 育児休業終了後の3月中の入園は難しく、4月入園を目指して育児休業の終了時期を延長した。
- ・ 1月から認可保育園を利用したかったが、入れなかったため、4月からの入園申し込みをし、1～3月は一時保育などを利用した。
- ・ 入社時期を遅らせてもらえるように、転職先と調整した。

【自由回答】 「就労条件を変えた」と答えた人が具体的に実施した内容

- ・ 会社に事情を説明し、フルタイムの状態ながらも勤務時間を抑えられるようにした。
- ・ 職場の了解を得て、保育園の送り迎えの時間は融通を利かせてもらった。
- ・ 時短勤務に変更した。
- ・ 在宅勤務に変更した。
- ・ 派遣社員に雇用形態を変更した。
- ・ フリーランスとして独立することにした。

(3) ー3 「保活」における行動内容の具体例（その他）

行った「保活」の内容について、「その他」と回答した人の活動の内容

【自由回答】「その他」の活動内容

① 転居

- ・ 結婚後かつ妊娠前に、比較的待機児童が少ないとされている自治体で住居を探した。

② 出産時期の調整

- ・ 生後半年からしか受け入れていない保育園もあったため、4～8月生まれになるようにバースコントロールした。

③ 職場との調整

- ・ 勤務先と、保育園に入れた場合と入れなかった場合の復職について話し合った。

④ 認可外保育園・一時保育等を予約・利用

- ・ 認可保育園に必ず入れる保証がなかったため、妊娠中に認証保育所を仮押さえした。

⑤ 幅広い施設への応募

- ・ 入園許可が出る確率が高くなるよう、現住所から遠い園にも希望を出した。

⑥ 申請時期の調整

- ・ 市の基準では、待機時間が長いと加点が加えられたため、本当に利用開始したい時期よりも半年早く利用申請をした。

⑦ 就職・転職

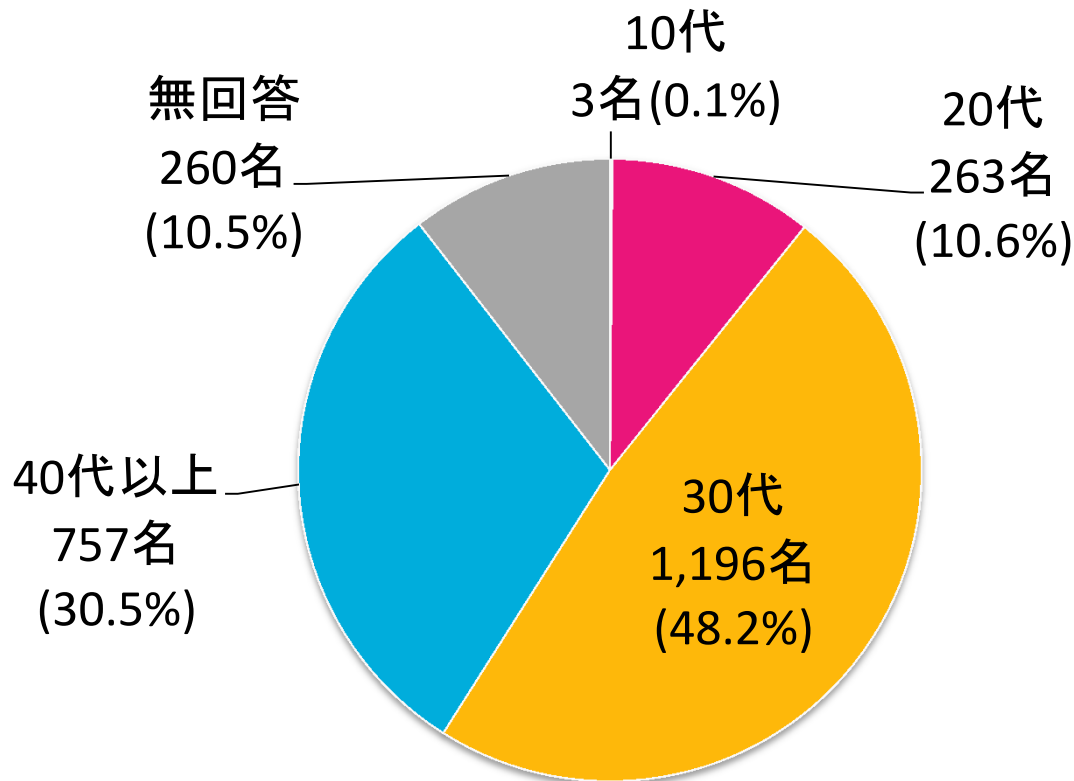
- ・ 勤務時間が足りずフルタイム勤務に該当しないことが分かり、内定を断り、再び就職活動を続け、フルタイム勤務の仕事を探した。

②保育制度全般の改善についてのご意見の結果

調査の概要（保育制度全般の改善についてのご意見）

- 調査対象：厚生労働省ホームページにアクセスしたすべての方
- 調査方法：厚生労働省ホームページから、回答様式にアクセスの上、回答。
- 有効回答数(n)：2,479件（平成28年3月22日（火）（調査開始日）～5月13日（金）の回答数）

【回答者の年齢構成】（n=2,479人）



【都道府県別回答数（上位5都府県）】

○東京都	696件（28.1%）
○神奈川県	226件（9.1%）
○大阪府	170件（6.9%）
○愛知県	134件（5.4%）
○埼玉県	128件（5.2%）

【性別構成】 男性：338名（13.6%）， 女性：1,913名（77.2%）， 無回答228名（9.2%）

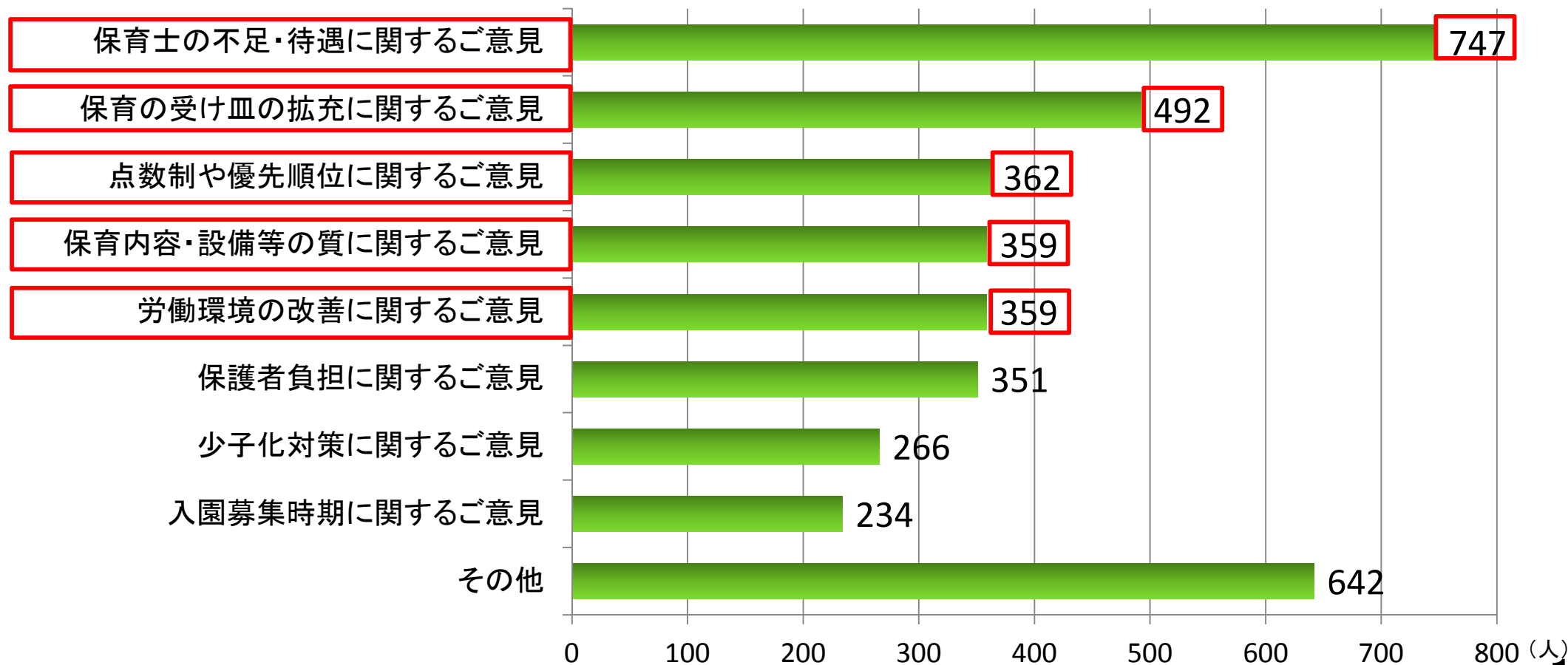
(1) -1 保育制度の現状へのご意見

- 保育制度の現状については、保育士の不足・待遇に関するご意見(747人)、保育の受け皿の拡充に関するご意見(492人)が特に多い。次いで、点数制や優先順位に関するご意見(362人)、保育内容・設備等の質に関するご意見(359人)、労働環境の改善に関するご意見(359人)の回答が多い。

※ホームページにアクセスしていただいた皆さまからのご意見です

【設問】 保育制度の現状についてご意見をお聞かせください。(自由回答／n = 2,479)

(降順)



(1) ー2 保育制度の現状へのご意見の具体例

保育制度の現状へのご意見のうち、「保育士の不足・待遇に関するご意見」の具体的な内容等

【自由回答】「保育士の不足・待遇に関するご意見」(747人)の具体的な内容

- ・保育士の数が足りていないため、個々の保育士の負担が大きく、十分な保育が提供できていない。
- ・給料アップはもちろん、保育士が出産した後もキャリアを積める労働環境を整備すべき。
- ・子育て支援、書類作成等の雑務、保護者対応等、保育以外の業務が多く、勤務時間も長くなる一方で、保育士はいつも疲労困憊している。
- ・子どもを見ること、膨大な書類を書くこと、日々の活動の準備、保護者と関係を築きフォローすること、新人保育士の教育、掃除などの雑用、休日の行事等々あり、定時での出勤退勤では収まりきれないほどの仕事量がある。
- ・給料は低い、勤務は過酷、自分の子どもは育てられないという環境で、職員の離職が止まらない状況。
- ・保育士を目指す人は子どもが好きであったり、人の役に立ちたいという思いが強い方が多いが、実際に働いてみると重労働の割に処遇が低く、一生の仕事として選ばれにくい。
- ・認可保育園の先生が、妊娠をきっかけに辞めてしまうのが残念。早朝、夜間の勤務はせずに、担任として復帰できるような選択肢をすべての保育園に設けるべき。
- ・現場の負担が大きすぎる。保育の専門性が、世間に伝わっていない。他の職種と逆で、経験を積む事でステップダウン(結婚などで退職→パートで復帰など)しがち。長く続けにくい。

(1) ー3 保育制度の現状へのご意見の具体例

保育制度の現状へのご意見のうち、「保育の受け皿の拡充に関するご意見」、「点数制や優先順位に関するご意見」の具体的な内容等

【自由回答】「保育の受け皿の拡充に関するご意見」(492人)の具体的な内容

- ・保育園の定員が足りていないため、多くの自治体が保護者の状況を点数化し、順位付けをして入園者の選定をしている状況にある。
- ・保育施設の数が都市部で圧倒的に足りていない。
- ・認可保育園が圧倒的に数が足りず、認可外保育施設についても量・質ともに不十分。
- ・1歳児の入園枠が少ないため、0歳児入園の競争が激化している。
- ・0歳児保育は保育園側も費用がかかるし、互いにメリットがないのであれば、2歳児で保育園に入りたい人は誰でも入れるように、その枠を拡大することが必要。
- ・待機児童の多い0～2歳児の受け皿確保に重点を置きがちだが、それにより3歳児の枠が不足している。
- ・保育園を増設すると周囲の地域住民から反対運動が起きている。確かに騒音などはあると思うが、小学校なども同様なのだから、保育園だけやり玉に挙げるのはおかしい。既存の幼稚園がたくさんあるのだから、延長保育を充実させれば待機児童も少しは減ると思う。

【自由回答】「点数制や優先順位に関するご意見」(362人)の具体的な内容

- ・住民税の納税額が低い家庭から決定するため、納税額が多い家庭の子どもであるほど、安全性が高く施設の充実した認可保育園に入れず、環境の劣る認可外や、最悪どこにも入れずに退職を余儀なくされる。
- ・フルタイムで共働きの家庭が保育の必要性が高いとみなされ、パートや求職中の人の方が後回しにされている。収入を確保するためにパートや求職をするのに、預け先がなければ収入は断たれる。

(1) ー4 保育制度の現状へのご意見の具体例

保育制度の現状へのご意見のうち、「保育内容・設備等の質に関するご意見」、「労働環境の改善に関するご意見」の具体的な内容等

【自由回答】「保育内容・設備等の質に関するご意見」(359人)の具体的な内容

- ・なんでもいいから子どもを預かってほしいのではなく、質のいい保育、安全な保育が求められる。
- ・現状では認可外<認証保育所<認可保育園の順で保育の質(保育士の配置、給食の有無、敷地面積の広さ、園庭の有無、設備の充実度)や保育料の安さに大きな格差があり、規制の厳しさや補助金の差等が子どもたちの生活へ大きな影響を与えることを実感している。
- ・公立の保育園では自分のところの園庭で自転車とかボール遊びができたが、転園先の私立の保育園はそういった遊びができない。
- ・地域の保育園は、子ども達がいる場所として最もふさわしい場所だとは思えない。子ども達にせめて夢が持てる楽しい場所を与えてやるのは大人の務めではないか。

【自由回答】「労働環境の改善に関するご意見」(359人)の具体的な内容

- ・会社勤めをする子育て世代に精神的、経済的負担が大きい。もっと社会全体で子育てを支援すべき。
- ・女性が働きやすくなるためには、雇用する企業がもっと考えないといけないと思う。
- ・子育てをすることで(会社に働きにでなくても)立派に生活していけるようにすればいい。家に居ても家事、育児、介護、仕事ができるように、企業と連携してインフラを整えていくことが急務である。

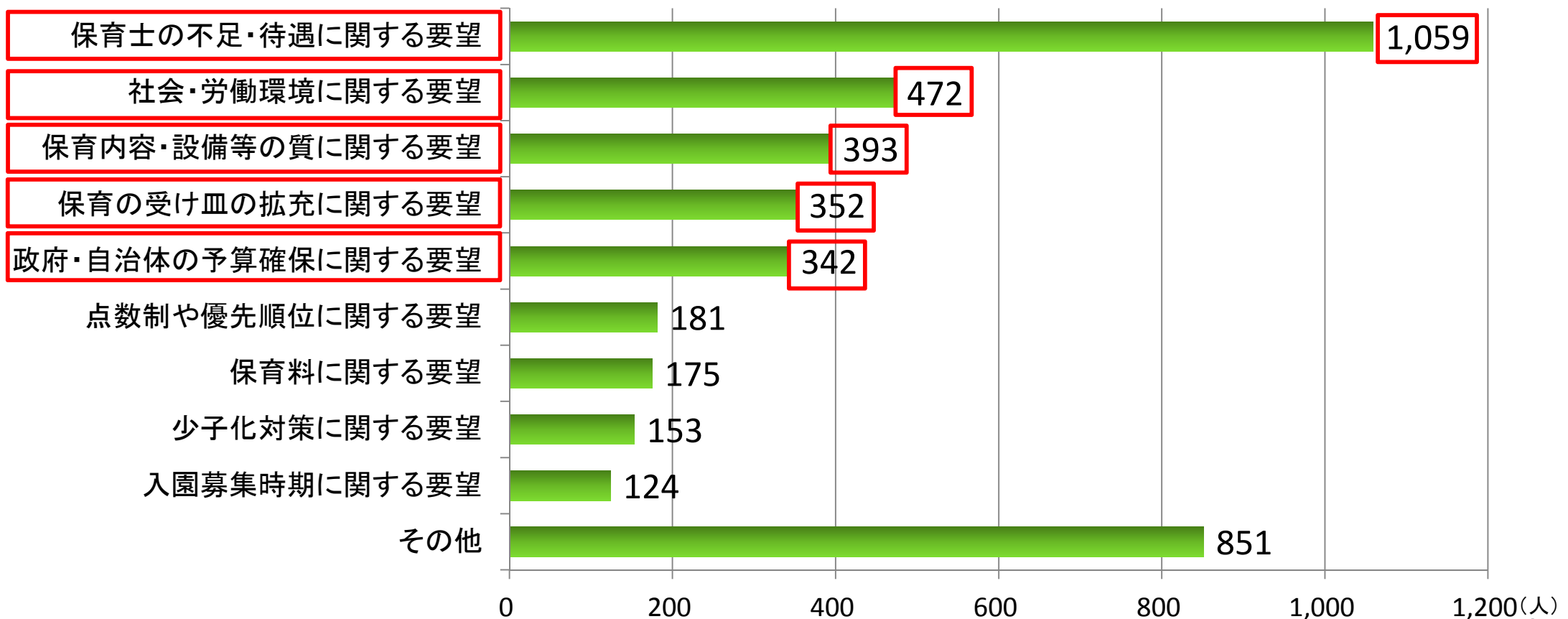
(2) -1 保育制度全般の改善についてのご意見

- 保育制度全般についての国への要望、改善すべきと思っていることについては、保育士の不足・待遇に関する要望(1,059人)が特に多かった。次いで、社会・労働環境に関する要望(472人)、保育内容・設備等の質に関する要望(393人)、保育の受け皿の拡充に関する要望(352人)、政府・自治体の予算確保に関する要望(342人)が多い。

※ホームページにアクセスしていただいた皆さまからのご意見です

【設問】 保育制度全般についての国への要望や、改善すべきと思っていることをお聞かせください。

(自由回答／n = 2,479)



(2) ー2 保育制度全般の改善についてのご意見の具体例

保育制度全般の改善についてのご意見のうち、「保育士の不足・待遇に関する要望」の具体的な内容等

【自由回答】 「保育士の不足・待遇に関する要望」(1,059人)の具体的な内容

- ・足りていない保育士数を算出し、補充してほしい。子育て経験のある母親などであれば、保育士資格がなくとも働ける環境づくりをしてほしい。
- ・ある程度の研修(無料)によって、保育士まではいかなくても保育補助の資格みたいなものを作って、日頃大変な保育士のサポートができる方を養成したらいいと思う。
- ・潜在保育士の解消、離職防止のため、保育士の給与改善を行ってほしい。
- ・保育士の給与を上げて、男性保育士や妊娠出産後の保育士、修士・博士卒の保育士など、多様な人材、優秀な人材が現場で活躍できるようにしてほしい。
- ・保育士の賃金を改善し、専門知識があるのに、給与面などで辞めることになった正規保育士に、現場復帰してもらう施策をとってほしい。
- ・保育士の負担軽減のため、保育士の業務量の削減や労働環境の改善をしてほしい。
- ・保育士のスキルアップの道筋や評価の基準が明らかになるようにすれば、向上心のあるよい保育士が正当な評価をされ、保育士も専門職として社会的に認められるようになると思う。
- ・保育士の処遇の改善として、給与を上げる、社会的ステータスを上げるということはもちろん必要だと思うが、保育士であればその方の子どもを第一優先に保育園に入れるというのも必要だと思う。

(2) ー3 保育制度全般の改善についてのご意見の具体例

保育制度全般の改善についてのご意見のうち、「社会・労働環境に関する要望」の具体的な内容等

【自由回答】「社会・労働環境に関する要望」(472人)の具体的な内容

- ・子育てと仕事を両立できる社会にするため、保育園の整備、保育士の処遇改善などにより、必要としている人がすべて保育園に入れるようにしてほしい。
- ・子育て中に自宅で仕事をしている人への支援を強化してほしい。
- ・育児休業・育児休業給付金の対象期間延長、短時間正社員制度の拡充、父親の育児休業制度の確立など、子育てと仕事の両立支援を強化してほしい。
- ・保育園の整備や保育士の処遇改善といった施策では限界がある。子育ての社会的な責任について、保護者、保育園、行政だけでなく、親の就労先である企業にも相当の責任を負わせるべき。保育園に入れず復職できない場合に退社せざるを得ないようなこともあり、こうしたことのないよう企業に働きかけてほしい。
- ・少子化対策の一環として、保育施設だけでなく企業で仕事をしている人の子育てを支援し、休暇の取りやすい職場づくりをすることによって、安心して心おきなく働ける・休める企業にしていくべき。
- ・多様な働き方が認められ、労働時間よりも個々の能力が重視されるような社会であれば、雇用側が保育園を作っても労働者を受け入れるようになると思う。
- ・子どもを授かった以上は親として3歳くらいまではじっくり子育てができた方が、子どもにとっても親にとっても大事なことだし、親としての自覚がしっかりできる。国がすべきこととしては、子どもを自分の手で安心して育てられる環境になるようにしてほしい。

(2) ー4 保育制度全般の改善についてのご意見の具体例

保育制度全般の改善についてのご意見のうち、「保育内容・設備等の質に関する要望」の具体的な内容等

【自由回答】「保育内容・設備等の質に関する要望」(393人)の具体的な内容

- ・質を落とすことなく、待機児童を無くしてほしい。
- ・一日の戸外保育時間を制定してほしい。年齢によって異なると思うが、4～6歳児を長時間室内保育させている園もあると思うので、保育内容についても細かく制度を設けてほしい。
- ・「保育園に入れるならどこでもいい」ではなく、園がそれぞれ特色を出し、それらを自由に選んで入れるようになって、幼稚園レベルの特色と入りやすさを担保してほしい。
- ・家庭で子育てする母親も、孤立化している家庭が多く、健全に育児ができにくい実態がある。保育所、保育施設では、子育て支援や虐待防止につながる関係づくりも、役割として担うことができる。
- ・自分は保育士だが、質を改善することにより子どもたちの遊びや生活が豊かになるだけでなく、保育士の処遇改善にもつながる、と自園での取組を通じて感じている。園内研修や会議の時間を確保したり、公開保育をするなどの外からの視点を入れる努力が必要だと感じている。

(2) -5 保育制度全般の改善についてのご意見の具体例

保育制度全般の改善についてのご意見のうち、「保育の受け皿の拡充に関する要望」、「政府・自治体の予算確保に関する要望」の具体的な内容等

【自由回答】「保育の受け皿の拡充に関する要望」(352人)の具体的な内容

- ・小学校と同じレベルで、各地域に一律に一定規模の保育園を設置してほしい。
- ・質が確保されるなら、民間に委託した認可外保育施設で全然構わないので、とにかく数を増やしてほしい。
- ・都市計画に見通しを持って、安易に分譲の住宅街やタワーマンションに建設許可の認可を出さない。
出すなら、保育所、公園等の設置を義務付ける等してほしい。
- ・大きい会社には保育園を完備すべき。
- ・保育園だけでなく、学童保育も増やしてほしい。

【自由回答】「政府・自治体の予算確保に関する要望」(342人)の具体的な内容

- ・保育士の処遇や保育園の設立・運営に必要なお金をかけてほしい。
- ・子どもにこそお金をかけるべき。保育士の給与に特化した補助金を出してほしい。
- ・保育料の無償化の検討をしても良いのではと思う。
- ・補助金額は市によって違い、社会福祉法人が運営していれば補助金が出るが、株式会社だと補助金が給付されない状況。制度そのものを見直してほしい。